



Professional Dual CD Player

CDX-15

取扱説明書

〒154-0011

東京都世田谷区上馬 2-37-1

電話 03-3412-7011

ファックス 03-3412-7013

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度はVESTAX CDX-15プロフェッショナルデュアルCDプレイヤーシステムをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮させるとともに、末永くご愛用頂くためにも、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

目次

安全上のご注意	1
本機の特徴	3
ご使用上の注意	3
各部の名称と機能	4
CDセクション	5
ミキサーセクション	9
リアパネルセクション	10
接続例	10
演奏の仕方	11
故障かな?と思ったら	12
保証・アフターサービスについて	13
主な仕様	13

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源指を挟まれないよう注意抜け

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさめないように注意）が描かれています。



警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用
禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けしないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- 2台の高性能CDプレイヤーと各コントロールを1つにまとめ、使い易いトップローディングタイプにしたDJ用CDプレイヤーシステムです。
- 超小型ミキサーの内蔵によりCD 2枚のミックスを手軽に行うことができます。
- 先読みメモリーの搭載により、プレイボタンを押してから実際に音が出力されるまでのタイムラグを最小限に押さえることができます。
- トラックジャンプしてから実際に音が出力されるまでのタイムラグは、高性能メカニズムとオートブランクパス機能の搭載により、最小限に押さえることができます。
- 耐震メモリーの搭載により、プレイヤー本体に伝達する外的振動やスピーカーからの音圧による音飛びを最小限に押さえることができます。また、サスペンションシステムのCDメカニズムへ搭載により、重低音域の振動による音飛びをさらに押さえることを可能にしました。
- 各CDプレイヤーで±10%までのピッチ調整が可能で、ロングストロークフェーダーコントロールにより簡単に各曲のBPMを正確に合わせる事ができます。
- スキャン、サーチ、ピッチベンドの3つの機能を素早く正確に操作できるように、ジョイスティックタイプコントローラーを採用しています。
- キューポイントファンクションは、曲の途中でのプレイスタートポイントのメモリーができます。
- 瞬間的にピッチを変えられるピッチベンド機能は、2枚のアナログレコードをレコードプレーヤーでミックスする感覚でCDをミックスする事ができます。
- 透明の亚克力カバーにより、CDの動きを確認でき、トップローディングタイプのため素早いCDチェンジが可能です。
- フロント面には質感あふれるウッドパネルを採用し、従来の機器とは異なるユニークで新しいデザインを実現しました。
- オートスタンバイモードが装備され、CDメカニズムの消耗を防ぐため、約10分間操作をしないと自動的にCDメカニズムのモーターがストップします。

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きな機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行ってください。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスをもつ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、強く絞った布で汚れをふき取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないで下さい。

修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また修理をお断りする場合があります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの店または、当社商品の取り扱い店にご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためプラグを持って行ってください。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意してください。
- 輸送や引越しの際は、この機器がはいっていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。

コンパクトディスクについて

七色に輝く美しい面が表面で、レーベル面が裏面です。従来のレコードプレーヤーと異なり、コンパクトディスクプレーヤーはレーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読みとります。従って、従来のレコードのように使っているうちに性能が劣化するようなことは全くありません。

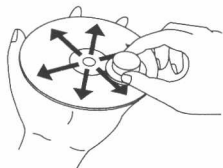
■ディスクの表面にキズを付けないように大切に扱ってください。

■ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

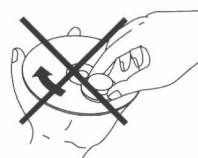
- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などがかかるおそれのある場所

■ディスクの表面はいつもきれいに

コンパクトディスクの表面には最大約60億個の情報が入っています。ディスクの表面を拭くときは必ずコンパクトディスク専用のクリーナーを使用して図のように拭いてください。



● 放射状方向にふいてください。



● 円周方向にはふかないでください。

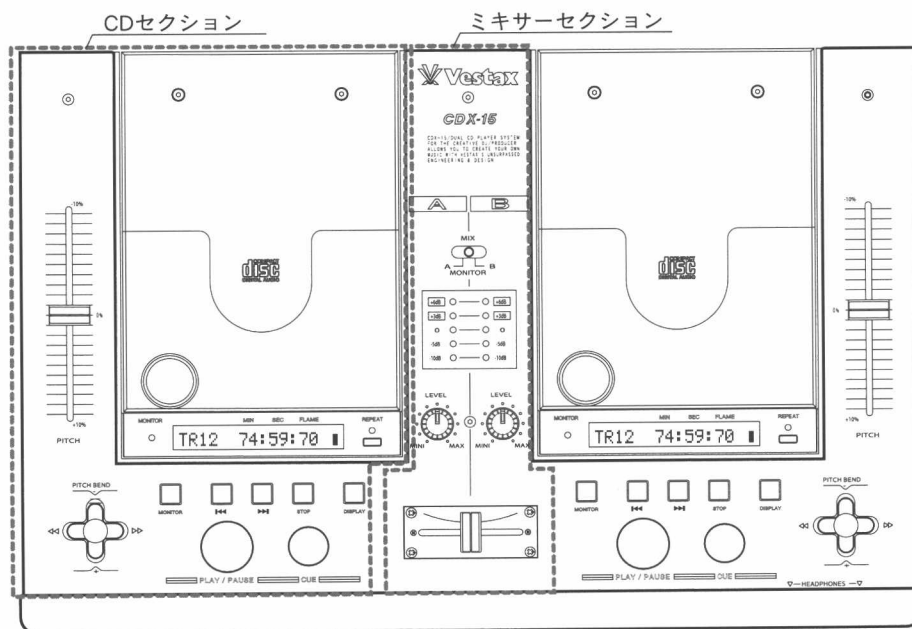
※従来のアナログディスク用のクリーナーを使用すると、コンパクトディスク表面に悪影響をあたえますので使用しないでください。

■ディスクはディスク用のケースに入れて正しく保管しましょう。

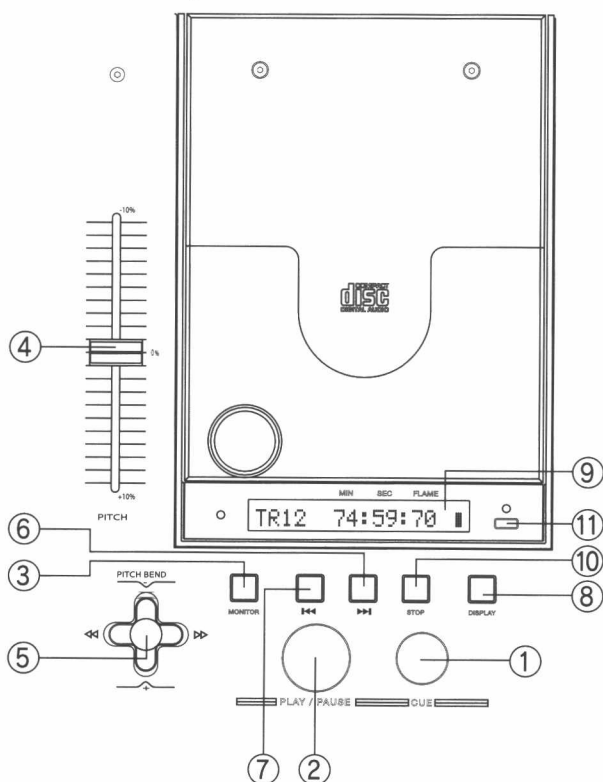
結露現象について

冬季など本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露がつきます。露がついたままではレーザー光線による信号読みとりができなくなり、再生できません。結露の程度にもよりますが、1〜2時間そのまま放置し、本機を室温に保てば露が消えて再生可能になります。また、夏期にクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも結露が生じる場合があります。その場合は本機の設置場所を変えて下さい。

各部の名称と機能



CDセクション



①CUEキー

再生のスタートポイント(1ヶ所のみ)をメモリーして呼び出す事ができます。任意に設定された曲の途中のフレーズから頭出しする時に使用します。

■キューリターンファンクションを行うときは、以下の手順で操作します。

- [1] NEXT/PREVIOUSキーで使用したいフレーズのある曲を選びます。
- [2] プレイボタンを押して再生し、スティックコントローラーでスキャンして、使いたいフレーズの頭でPLAY/PAUSEキー②を押してポーズ状態にし、さらにMONITORキー③を押して、ポーズモニター状態にします。
- [3] スティックコントローラーを左右に動かして、使用したいフレーズのスタートポイントを正確にサーチした後、MONITORキー③を押して、モニター状態を解除し、PLAY/PAUSEキー②を押して再生します。このとき、キューポイントがメモリーされます。再生した際にフレーズのポイントからずれていた場合は、上記の作業を繰り返して下さい。
- [4] CUEキーを押します。キューポイントをサーチして、ポーズ状態になります。

■キューリターンファンクションにより設定されたメモリーは、次のいずれかを行うと失われます。

- [1] 電源をOFFにする。
- [2] キューポイント設定後、CUEボタンを押す前にポーズとプレイの動作を行ったとき。
- [3] ストップキーを押す。
- [4] カバーをオープンする。

注 意

設定されたメモリーはクリアされ、最後にプレイキーを押してプレイを行ったポイントが新たにメモリーされますのでご注意下さい。

②PLAY/PAUSEキー

押すとディスクを再生しはじめ、もう一度押すと再生を一時停止しポーズ状態になります。また、約10分間何も操作されずスタンバイモードになったときにPLAY/PAUSEキーを押しますと、CUEポイントが設定されていればCUEポイントで、設定されていなければ1曲目の頭でPAUSEします。

③MONITORキー

- [1] ポーズ状態でMONITORキーを押した場合、一時停止している部分の繰り返し音を出力します。スティックコントローラーを使ってフレームサーチし、フレーズの頭出しができます。
- [2] モニター状態は、再度MONITORキーを押した時のみ解除されます。この解除操作を行わなければ、常に再生信号が出力されますので、誤操作のないようにご注意下さい。

注 意

一時停止中の繰り返し音は、PLAY/PAUSEキーを押したポジションから一定フレーム前に戻り、CUEポジションから一定フレーム再生するという動作の繰り返しによるものです。

④PITCHコントロールフェーダー

CDの再生速度を±10%までのピッチを可変できます。これにより、曲のテンポを調節し2枚のCDのテンポを合わせることが可能です。

注 意

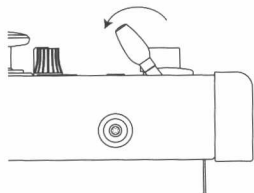
STICK CONTROLLERの可変幅は、ピッチ調整フェーダー④の位置に関係なく±20%です。

⑤STICK CONTROLLER

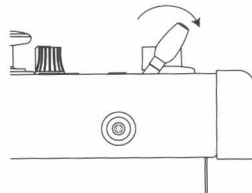
このスティックコントローラーは3種類の機能をもっています。

[1]ピッチベンド機能

スティックの上下により、瞬間的にピッチを変化させることが出来ます。スティックが中央のときはピッチフェーダー④で設定したピッチにもどります。この機能を使えば、2曲のテンポをスムーズに合わせることが出来ます。



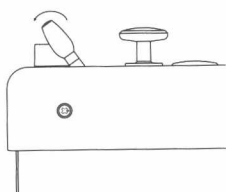
スティックを上げる → マイナス方向にピッチが変化します。最低-20%まで可変します。



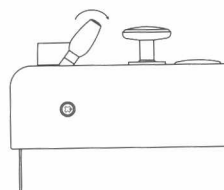
スティックを下げる → プラス方向にピッチが変化します。最高+20%まで可変します。

[2]スキャン機能

CD再生時、スティックを左右に動かすことにより、再生スピードを、2倍速から10倍速に3段階に変化させることが出来ます。再生したいフレーズの頭出しするとき等に、大まかにキューポイントをサーチするときに使用します。



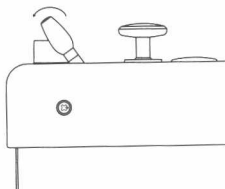
スティックを左に倒す。 → 逆方向に再生します。



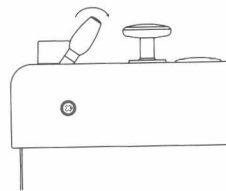
スティックを右に倒す。 → 順方向に再生します。

[3]フレームサーチ機能

ポーズモニター状態の時にスティックを左右に動かすことにより、1~75フレーム単位で頭出しをしたいキューポイントをサーチすることが出来ます。



スティックを左に倒す。 → 逆方向にサーチします。



スティックを右に倒す。 → 順方向にサーチします。

■スティックを右側に倒しきると、通常の再生スピードとなります。

■CDは1秒間を75フレームに分割して記録されています。

⑥NEXTキー

次曲の頭にジャンプするときに使用します。

⑦PREVIOUSキー

再生中の曲頭に戻すときに使用します。続けて押すと前曲の曲頭に戻ります。

⑧DISPLAYキー

このキーを押す毎にDISPLAYの表示内容が切り替わります。DISPLAYの表示モードは時間表示モードとテキスト表示モードがあり、テキスト表示モードはテキストデータが記録されたCDのみ有効で、テキストデータが存在しないCDの場合は時間表示モードのみとなります。

[1]時間表示モード

このキーを押す毎にDISPLAYの表示内容が下記のように切り替わります。電源投入時は“1曲の残量時間”を表示します。

●テキストデータが記録されたCD

1曲の残量時間 → 1曲の進行時間 → ディスクのトータル残量時間 → ≪テキスト表示モード≫

“トータル残量時間”を表示している状態でDISPLAYキーを押すと、テキスト表示モードに入り、DISPLAYキーを押し続け“Track/Albumメッセージ”を表示している状態でDISPLAYキーを押すと“1曲の残量時間”の表示に戻ります。

●テキストデータが記録されていないCD

1曲の残量時間 → 1曲の進行時間 → ディスクのトータル残量時間

[2]テキスト表示モード

テキストデータが記録されているCDをご使用になると、プレイ/ポーズ中は選曲しているTrackに関するテキストを表示し、ストップ中には演奏するCDのAlbumに関するテキストを表示することができます。表示内容はDISPLAYキーを押す毎に、下記のように切り替わります。

Trackに関するテキスト表示（プレイ/ポーズ中）

表示内容	タイトル表示
Trackタイトル	“Track Title”
↓	
Trackアーティスト	“Performer”
↓	
Track作詞者	“Songwriter”
↓	
Track作曲者	“Composer”
↓	
Track編曲者	“Arranger”
↓	
Trackメッセージ	“Message”
↓	
≪時間表示モード≫	

Albumに関するテキスト表示（ストップ中）

表示内容	タイトル表示
Albumタイトル	“Album Title”
↓	
Albumアーティスト	“Performer”
↓	
Album作詞者	“Songwriter”
↓	
Album作曲者	“Composer”
↓	
Album編曲者	“Arranger”
↓	
Albumメッセージ	“Message”
↓	
≪時間表示モード≫	

注 意

上記表示内容のデータは全てのCDに含まれている訳ではありません。データが存在しない表示内容はスキップし、次の表示を行います。

⑨DISPLAY

本体の動作状況、トラックナンバー、タイム、フレーム、テキスト、耐震メモリー量を表示します。

[1]動作状況表示

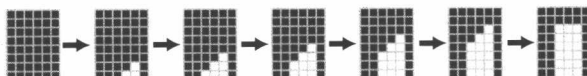
ディスプレイの表示	動作の内容
Vestax CDX-15	初期設定中。
Door Open	CDドアが開いている状態。
TOC Reading	CDのTOCデータを読み込み中。
No Disc	CDがトレイに入っていない状態。
TOC Error	CDのTOCデータを読み込めない状態。
Read Error	CDのAUDIOデータを読み込めない状態。
No Audio DISC	AUDIOデータが記録されていないDISKをトレイに入れた状態。

[2]トラックナンバー、タイム、フレーム表示



[4]耐震メモリー量表示

耐震メモリーに蓄えられているデータ量は下図のように表示されます。



[3]テキスト表示



■耐震メモリーのデータは以下の操作を行うと一旦消去され、通常のPLAY状態またはPAUSEでモニターOFF状態に切り替わると、耐震メモリーにデータをたくわえ始めます。

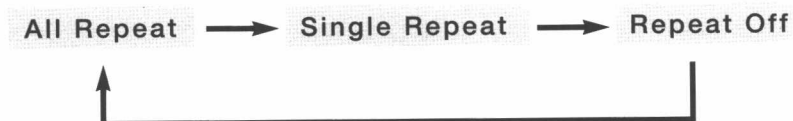
- CDの回転をSTOPしたとき。
- FF/REW動作をしたとき。
- サーチ動作をしたとき。
- PAUSE状態でモニターONとしたとき。

⑩STOPキー

ディスク交換時や、CDの回転を止める時に使用します。

⑪REPEATキー

リピートモードを設定する際に使用します。一度キーを押すと、ディスプレイの表示が切り替わり、現在設定されているリピートモードを1秒間表示しますので、その間にキーを押し、モードを設定してください。電源投入時はリピートOFFに設定されており、このキーを押す毎に下図のような切り替わり、All/Singleリピートモードに設定されるとキー上部のLEDが点灯します。



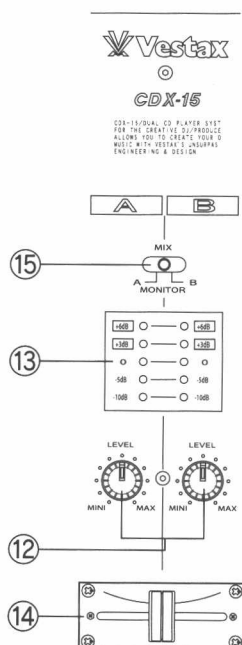
[1]Allリピートモード

CDの最終Trackの再生を終了しますと、自動的に1曲目の頭にもどり、再生を続けます。

[2]Singleリピートモード

現在再生中のTrackの再生終了後、そのTrackの頭にもどり、再生を続けます。

ミキサーセクション



⑮ MONITOR SELECT SWITCH

ヘッドホンでモニターする信号を選択します。ヘッドホンの左側からは、MONITOR SELECT SWで選択されたプログラムの信号が、右側からは、ミキサーから出力されている信号がモニターできます。MIXを選択した場合は、ヘッドホンの左右からは、ミキサーから出力されている信号をステレオでモニターすることができます。

⑫ LEVEL VOLUME

プレイヤーA、Bの再生レベルを調節します。

⑬ LEVEL METER

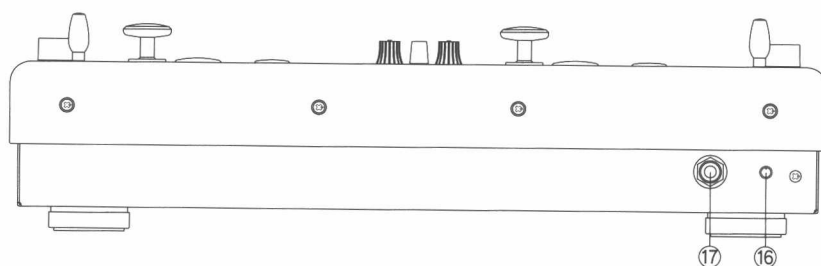
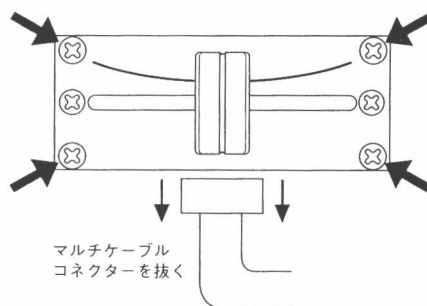
プレイヤーA、Bの再生レベルを表示します。(dB表示)。

⑭ CROSS FADER

左側に移動するに従いプレイヤーAの音が、右側に移動するに従いプレイヤーBの音が、それぞれ出力されます。また、中央部では両方の音が同時に出力されます。

■クロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合はクロスフェーダーの寿命ですので、フェーダーユニットを交換してください。交換の際には、別売の交換用クロスフェーダー“CF-R”をお買い求めください。なお、交換の際は以下の要領で行ってください。

- フェーダーユニットパネルの取付けネジ(4本)を外します。
- フェーダーユニットを取り外します。
- フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。
- 新しいフェーダーユニットに、コネクターを差込み取付けネジでパネルに固定します。



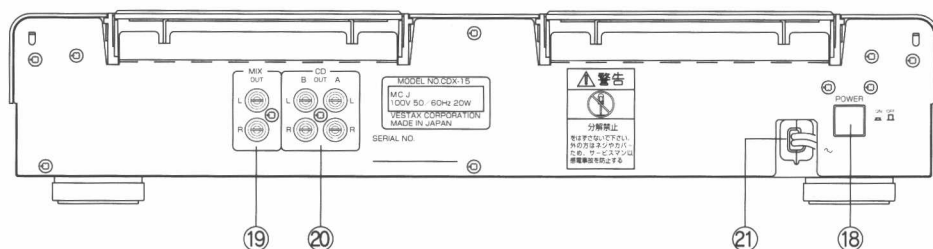
⑯ MONITOR VOLUME

ヘッドホンジャックに接続されたヘッドホンの音量を調節します。

⑰ HEADPHONE JACK

ステレオのヘッドホンを接続します。

リアパネルセクション



⑱ POWER SWITCH

電源のON/OFFスイッチです。このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプ等のボリュームを下げるか、電源を切った状態で行ってください。

⑲ MIX OUT JACK

最終的にミックスされた信号が出力されます。アンプ等に接続してください。

■オーディオ用のアンプ等に接続する場合は、LINEやAUXの表記がある入力端子に接続します。

⑳ CD OUT JACK

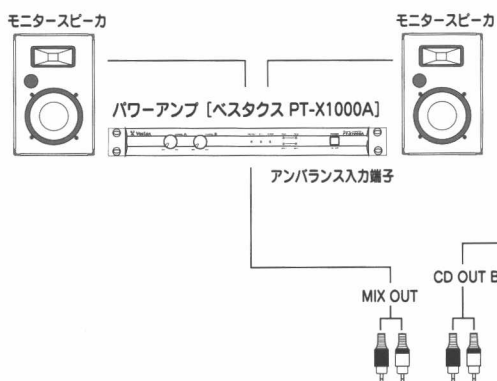
プレイヤーA、Bのダイレクト出力端子です。内蔵ミキサーを経由せずに外部ミキサー、プリメインアンプなどに接続するときに使用します。

㉑ AC CORD

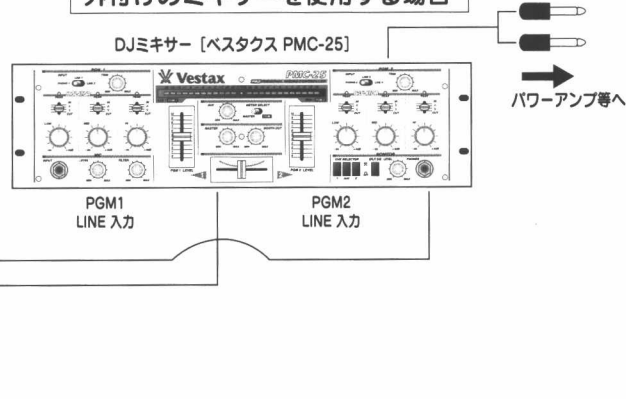
電源を供給するケーブルです。AC 100Vの電源コンセントに接続して下さい。

接続例

CDX-15 内蔵のミキサーを使用する場合



外付けのミキサーを使用する場合



演奏のしかた

通常再生のしかた

- [1] 電源スイッチを押し電源を入れます。
[2] カバーを開け、ラベル面を上にしてディスクをボールチャッキングにはめ込み、カバーを閉じます。



ディスクは回転し、1曲目の再生時間を表示し、スタンバイ状態となります。

- [3] PLAY/PAUSEキーを押します。



1曲目から再生を開始します。また、ディスプレイには再生中の曲の残量時間が分と秒とフレームで表示されます。

- [4] 再生中に次の曲を聴く場合はNEXTキーを押します。



再生中の曲が中断され、次の曲の始めから再生を開始します。

- [5] 2曲目より後の曲を聴く場合はNEXTキーを連続押しするか、そのまま押し続けます。
[6] 再生を一時中断するには、PLAY/PAUSEキーを押します。再生を開始する場合は、再度PLAY/PAUSEキーを押します。
[7] STOPキーを押すと再生が終わります。また、全曲再生が終わると自動的に1曲目のPAUSE状態になります。[4]再生中に次の曲を聴く場合はNEXTキーを押します。

スタンバイモードについて

約10分間PAUSE状態で再生されなかった場合、CDX-15はメカニズムの消耗を防ぐため、自動的にスピンドルモーターの回転をストップしスタンバイモードに入ります。スタンバイモードは以下の動作を行うとを解除されます。

- PLAY/PAUSEキーを押したとき。
- CUEキーを押したとき。
- STOPキーを押したとき。
- NEXTキーを押したとき。
- PREVIOUSキーを押したとき。
- ドアを開けたとき。

- [8] 再生が終わりましたら、カバーを開けCDを取り出します。

DJプレイの基本操作

- [1] PLAY/PAUSEキーを押して再生します。
[2] MONITORキーを押して、MONITORモードにします。
[3] スティックコントローラーを左右に動かしてスキャンし、キューポイントに設定したいポイントの近辺まで移動させてください。
[4] PLAY/PAUSEキーを押して、ポーズモニター状態にします。



ポーズポイントのリピート音（4フレーム周期）が出力されます。

- [5] [4]の操作後、スティックコントローラーは、フレームサーチ機能となりますので、リピート音を聴きながらスティックを左右に動かして、キューポイントをサーチし、設定します。
[6] キューポイントの設定が終了しましたら、MONITORキーを押して、MONITORモードを解除します。



リピート音が出力されなくなります。

- [7] PLAY/PAUSEキーを押して再生します。
[8] 再生している曲にテンポをあわせる場合は、④コントロールフェーダーと⑤STICK CONTROLLERのピッチベンドを併用してピッチ調整を行ってください。
[9] 再度、キューポイントに戻りたいときは、CUEキーを押しますと、キューポイントに戻り、ポーズ状態になります。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない。	電源コードがつながっていない。	電源コンセントにつなぐ。
演奏をはじめてもすぐに停止してしまう。	ディスクの表と裏を逆に装着している。	レーベル面を上にして装着する。
	ディスクのくもりなど。	ディスクのくもりを拭き取る。
音が出ない。	出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。	正しく接続する。
	内臓ミキサーや、オーディオミキサーを正しく接続していない。	ミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。
	接続のための端子やプラグが汚れている。	汚れを拭きとって接続する。
プレーヤーがポーズモードになっている。	プレーヤーがポーズモードになっている。	PLAY/PAUSE ボタンを押して、演奏する。
音が歪む、雑音が出る。	出力コードが正しく接続されていない。	オーディオミキサーのライン入力端子へ接続する。フォの端子、マイク端子へは接続しないでください。
	接続のための端子やプラグが汚れている。	汚れを拭きとって接続する。
	テレビからの影響を受けている。	テレビの電源を切る。または本機を離す。
特定のディスクで大きなノイズが出る。演奏が中断してしまう。	ディスクに大きなキズやそりがある。	ディスクを交換する。
	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取る。
テレビの画面が乱れる、FM 放送に雑音が入る。	本機が影響している。	本機の電源を切るか、テレビから離す。 確実に接続する。
電源 ON の状態でディスクが停止している。	ポーズ状態で 10 分以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止し、スタンバイモードに入ります。	PLAY/PAUSE 等のボタンを押すと演奏を開始します。

注意

本機は、ファイナライズされてない CD-R ディスクを再生することはできません。

保証・アフターサービスについて

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ () -

主な仕様

●電源	AC100V 50Hz/60Hz (国内)
●付属品	取扱説明書、保証書、ユーザーカード
●消費電力	20W
●重量	7.5Kg (本体)
●外形寸法	442×289×89

CD部

量子化	16ビットリニア
サンプリング周波数	44.1KHz
デジタルフィルタ	8倍オーバーサンプリング
ショックプルーフメモリー	16Mbit 非圧縮時 約10秒間
エラー補正方式	CIRC
高調波歪み	0.008%
周波数特性	20Hz~20kHz
S/N比	96dB
チャンネルセパレーション	85dB
CDマウント方式	ボールチャッキングトップマウント
CD OUT	2Vrms

ミキサー部

MIX OUT	
周波数特性	20Hz~20kHz ±2dB (MIX OUT)
クロストーク	60dB
SN比	90dB
ヘッドフォンレベル	1.2Vrms (33Ω 負荷時)

◆ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。お互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。



日本音楽著作権協会

本部

〒105 東京都港区西新橋1-7-13

TEL (03) 3502-6551 (大代表)

北海道支部 (業務地域 北海道)

〒060 札幌市中央区北一条西3-2 大和銀行札幌ビル

TEL (011) 221-5088 (代表) FAX (011) 221-1311

盛岡支部 (業務地域 岩手・青森・秋田)

〒020 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル

TEL (0196) 52-3201 (代表) FAX (0196) 52-4010

仙台支部 (業務地域 宮城・山形・福島)

〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル

TEL (022) 264-2266 (代表) FAX (022) 265-2706

長野支部 (業務地域 長野)

〒380 長野市南千歳2-12-1 日本団体生命長野ビル

TEL (026) 225-7111 (代表) FAX (026) 223-4787

大宮支部 (業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟)

〒331 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル

TEL (048) 643-5461 (代表) FAX (048) 643-3567

上野支部 (業務地域 東京23区の城東地域・茨城)

〒110 東京都台東区上野2-7-13

交通公社・安田火災上野共同ビル

TEL (03) 3832-1033 (代表) FAX (03) 3832-1040

東京支部 (業務地域 東京23区の東部・千葉)

〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目

TEL (03) 3562-4455 (代表) FAX (03) 3562-4457

西東京支部 (業務地域 東京23区の西部)

〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル

TEL (03) 3232-8301 (代表) FAX (03) 3232-7798

東京イベント・コンサート支部

(業務地域 東京都・千葉・茨城・山梨)

※コンサートや、イベント等における演奏・上映等

〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル

TEL (03) 5286-1671 (代表) FAX (03) 5286-1670

立川支部 (業務地域 東京の市・郡部・山梨)

〒190 立川市曙町2-22-20 立川センタービル

TEL (0425) 29-1500 FAX (0425) 29-1515

横浜支部 (業務地域 神奈川)

〒231 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル

TEL (045) 662-6551 (代表) FAX (045) 662-6548

◆著作権について

●放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カセット、CDなど）、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。

●したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。

●使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせ下さい。

静岡支部 (業務地域 静岡)

〒420 静岡市御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル

TEL (054) 254-2621 (代表) FAX (054) 254-0285

中部支部 (業務地域 愛知・岐阜・三重)

〒450 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル

TEL (052) 583-7590 (代表) FAX (052) 583-7594

北陸支部 (業務地域 石川・富山・福井)

〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル

TEL (0762) 21-3602 FAX (0762) 2-6109

京都支部 (業務地域 京都・滋賀・奈良)

〒600 京都市下京区四条通鳥丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル

TEL (075) 251-0134 (代表) FAX (075) 251-0414

大阪支部 (業務地域 大阪南部・和歌山)

〒542 大阪府中央区南船場4-3-11 豊田ビル

TEL (06) 244-0351 FAX (06) 244-1970

大阪北支部 (業務地域 大阪北部)

〒542 大阪府中央区南船場4-3-11 豊田ビル

TEL (06) 244-7077 (代表) FAX (06) 244-1970

神戸支部 (業務地域 兵庫)

〒650 神戸市中央区海岸通6番地 隆ビルⅡ

TEL (078) 322-0561 (代表) FAX (078) 322-0975

中国支部 (業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)

〒730 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル

TEL (082) 249-6362 (代表) FAX (082) 246-4396

四国支部 (業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)

〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル

TEL (0878) 21-9191 (代表) FAX (0878) 22-5083

九州支部 (業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本)

〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル

TEL (092) 441-2285 (代表) FAX (092) 441-4218

鹿児島支部 (業務地域 鹿児島・宮崎)

〒892 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル

TEL (099) 224-8211 (代表) FAX (099) 224-6106

那覇支部 (業務地域 沖縄)

〒900 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル

TEL (098) 863-1228 (代表) FAX (098) 866-5074

